

# 構造改革特別区域計画の変更の認定申請書

平成16年 5月14日

内閣総理大臣 殿

北九州市長 末 吉 興 一

平成15年4月21日付で認定を受け、平成15年11月28日に変更認定を受けた構造改革特別区域計画（北九州市国際物流特区）について下記のとおり変更したいので、構造改革特別区域法第6条第1項の規定及び法附則第3条に規定する措置に基づき、構造改革特別区域計画の変更の認定を申請します。

## 記

### 1. 変更事項

- |       |   |  |
|-------|---|--|
| 計 画 書 | 3 | 構造改革特別区域の範囲  |
|       | 4 | 構造改革特別区域の特性  |
|       | 6 | 構造改革特別区域計画の目標  |
|       | 8 | 特定事業の名称  |
|       | 9 | 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項 |
| 別 紙   |   | 特定事業の削除（ 704 , 705 , 813 , 815 ）   |
|       |   | 特定事業の追加（ 501 , 502 , 503 , 504 ）   |

### 2. 変更事項の内容

別表「新旧対照表」のとおり

(別表)

新	旧
3 構造改革特別区域の範囲 北九州市の全域	3 構造改革特別区域の範囲 北九州市の区域のうち、門司区及び小倉北区の全域並びに若松区、八幡東区及び八幡西区の区域の一部（北九州学術研究都市の全域並びに響灘及び洞海湾沿岸部の一部）：詳細別紙のとおり
4 構造改革特別区域の特性 略 北九州市ルネッサンス構想 略 5 年実施計画 計画的な行政を推進しながら、時代の変化に速やかに対応 ○ 第一次実施計画 ・ 計画期間 平成元年度～5年度 ・ 施策数 397件 ・ 事業費 約8,200億円（当初予算額累計） ○ 第二次実施計画 ・ 計画期間 平成6年度～10年度 ・ 施策数 558件 ・ 事業費 約11,700億円（当初予算額累計） ○ 第三次実施計画（進行中） ・ 計画期間 平成11年度～15年度 ・ 施策数 671件 ・ 事業費 約13,500億円（当初予定） <u>第三次実施計画・改訂版</u> ・ 計画期間 平成16年度～17年度 ・ 施策数 627件 ・ 事業費 約4,400億円（当初予定）	4 構造改革特別区域の特性 略 北九州市ルネッサンス構想 略 5 年実施計画 計画的な行政を推進しながら、時代の変化に速やかに対応 ○ 第一次実施計画 ・ 計画期間 平成元年度～5年度 ・ 施策数 397件 ・ 事業費 約8,200億円（当初予算額累計） ○ 第二次実施計画 ・ 計画期間 平成6年度～10年度 ・ 施策数 558件 ・ 事業費 約11,700億円（当初予算額累計） ○ 第三次実施計画（進行中） ・ 計画期間 平成11年度～15年度 ・ 施策数 671件 ・ 事業費 約13,500億円（当初予定）
6 構造改革特別区域計画の目標 略 (2) コンセプトを具現化するための具体的な目標 略 イ 具体的な目標 略 産業空洞化の防止（産業再生）	6 構造改革特別区域計画の目標 略 (2) コンセプトを具現化するための具体的な目標 略 イ 具体的な目標 略 産業空洞化の防止（産業再生）

近年、アジア諸国においては、低廉な労働力に加え、技術力の向上が著しくすすんでおり、また、中国という巨大なマーケットの出現に伴う適地生産という企業行動から、多くの製造業が産業拠点を海外へ移転する事態になっている。

今後、このような事象が進展することにより、国内経済の縮小とR&D分野への投資の減少という負のスパイラルに陥る危険性が指摘されている。

我が国産業の空洞化を食い止め、日本の国際競争力及び比較優位性を確保するため、初期費用及び固定費の低廉化を図るなどの、環境整備が喫緊の課題となっている。

並行して、地域の特性や我が国の技術力を活かし、アジア諸国と比較しても優位性が保てるモデルを見出し、産業拠点としての生き残りを図る必要がある。

そのため、北九州市では、産業を支える知的基盤として、北九州学術研究都市を整備するとともに、企業活動の大きな課題となっている廃棄物の適正処理を進め、合わせて環境産業の振興を図るため、北九州エコタウンの整備を行っている。

そこで本市は、構造改革特別区域法に基づく規制緩和の特定事業及び関連事業の実施により、重厚長大型産業を支えてきたエネルギーインフラ、港湾の後背地の有効活用等を可能とし、企業立地の初期費用、固定費の軽減を図る。

更に、「情報」と「環境」をコンセプトとしている北九州学術研究都市においては、集積する大学と地域の大学等の連携を図るとともに、我が国を代表する産業技術と大学、研究所等の最先端の研究開発機能を結び付け、高度技術者の供給体制の整備、産学連携の拠点性を確保するなど、新産業を支える知的基盤の充実を図る。

これにより、産業集積に必要な環境を提供し、地域経済の活性化、雇用の創出を図る。

加えて、海と陸の結節点として大きな役割を果たす港湾と、都市隣接型の産業の連携を強め、シナジー効果を発揮させることで、我が国の産業の流出の防止に必要な環境を整備することを目的とするものである。

これは、三大都市圏等の主要臨海部の今後の方向性の一つを示すものであり、一地域の振興ではなく、我が国の経済・産業の活性化につながっていく。

近年、アジア諸国においては、低廉な労働力に加え、技術力の向上が著しくすすんでおり、また、中国という巨大なマーケットの出現に伴う適地生産という企業行動から、多くの製造業が産業拠点を海外へ移転する事態になっている。

今後、このような事象が進展することにより、国内経済の縮小とR&D分野への投資の減少という負のスパイラルに陥る危険性が指摘されている。

我が国産業の空洞化を食い止め、日本の国際競争力及び比較優位性を確保するため、初期費用及び固定費の低廉化を図るなどの、環境整備が喫緊の課題となっている。

並行して、地域の特性や我が国の技術力を活かし、アジア諸国と比較しても優位性が保てるモデルを見出し、産業拠点としての生き残りを図る必要がある。

そのため、北九州市では、産業を支える知的基盤として、北九州学術研究都市を整備するとともに、企業活動の大きな課題となっている廃棄物の適正処理を進め、合わせて環境産業の振興を図るため、北九州エコタウンの整備を行っている。

そこで本市は、構造改革特別区域法に基づく規制緩和の特定事業及び関連事業の実施により、重厚長大型産業を支えてきたエネルギーインフラ、港湾の後背地の有効活用等を可能とし、企業立地の初期費用、固定費の軽減を図る。

更に、「情報」と「環境」をコンセプトとしている北九州学術研究都市において、我が国を代表する産業技術と大学、研究所等の最先端の研究開発機能を結び付け、高度技術者の供給体制の整備、産学連携の拠点性を確保するなど、新産業を支える知的基盤の充実を図る。

これにより、産業集積に必要な環境を提供し、地域経済の活性化、雇用の創出を図る。

加えて、海と陸の結節点として大きな役割を果たす港湾と、都市隣接型の産業の連携を強め、シナジー効果を発揮させることで、我が国の産業の流出の防止に必要な環境を整備することを目的とするものである。

これは、三大都市圏等の主要臨海部の今後の方向性の一つを示すものであり、一地域の振興ではなく、我が国の経済・産業の活性化につながっていく。

(3) 具体的な目標を達成するための取り組み

略

北九州エコタウン事業の推進

略

エコタウンの3点セット

環境産業の振興にあたり、基礎研究から技術開発・実証研究、事業化に至るまで3点セットで総合的に展開

- 北九州学術研究都市で教育・基礎研究
- 実証研究エリア

環境・リサイクルの新技术を実証的に研究するエリア

第1期整備エリア約6.5ha、22施設開設

- ・福岡大学資源循環・環境制御システム研究所
- ・新日本製鐵北九州環境技術センター
- ・処分場技術 4施設
- ・焼却灰リサイクル技術 3施設
- ・資源リサイクル技術
- ・おからリサイクル技術 2施設
- ・発泡スチロールリサイクル技術
- ・食品ゴミの生分解性プラスチック化技術 2施設
- ・焼酎かすのリサイクル技術
- ・廃FRP船のリサイクル技術
- ・その他

エコタウンセンター（平成13年6月開設）

エコタウンセンターアネックス（平成15年7月開設）

北九州市学術研究都市の充実

略

北九州新大学構想

理工学系の国・公・私立の大学等や公設・民間の研究機関を、学術研究都市中心部の同じキャンパスに集積

複数の大学や研究機関が日々接触し、互いに協力すると同時に、競争し、しのぎを削る仕組みをつくって、学研都市全体が自ずと高度化していく環境づくり

- ・九州工業大学大学院生命体工学研究科
- ・北九州市立大学国際環境工学部
- ・早稲田大学理工学総合研究センター九州研究所

(3) 具体的な目標を達成するための取り組み

略

北九州エコタウン事業の推進

略

エコタウンの3点セット

環境産業の振興にあたり、基礎研究から技術開発・実証研究、事業化に至るまで3点セットで総合的に展開

- 北九州学術研究都市で教育・基礎研究
- 実証研究エリア

環境・リサイクルの新技术を実証的に研究するエリア

第1期整備エリア約6.5ha、22施設開設

- ・福岡大学資源循環・環境制御システム研究所
- ・処分場技術 6施設
- ・焼却灰リサイクル技術 3施設
- ・資源リサイクル技術 7施設
- ・その他汚染物浄化技術 2施設
- ・おからリサイクル事業
- ・発泡スチロールリサイクル事業
- ・食品ゴミの生分解性プラスチック化実証事業
- ・その他

エコタウンセンター（平成13年6月開設）

エコタウンセンターアネックス（平成15年7月開設予定）

北九州市学術研究都市の充実

略

北九州新大学構想

理工学系の国・公・私立の大学等や公設・民間の研究機関を、学術研究都市中心部の同じキャンパスに集積

複数の大学や研究機関が日々接触し、互いに協力すると同時に、競争し、しのぎを削る仕組みをつくって、学研都市全体が自ずと高度化していく環境づくり

- ・九州工業大学大学院生命体工学研究科
- ・北九州市立大学国際環境工学部
- ・早稲田大学理工学総合研究センター九州研究所

- ・英国クランフィールド大学北九州研究所
- ・GMD - J a p a n 研究所（ドイツ国立情報処理研究所）
- ・福岡県リサイクル総合研究センター（県立）
- ・福岡大学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻
- ・早稲田大学大学院情報生産システム研究科
- ・北九州市立大学大学院国際環境工学研究科

略

#### 九州市科学技術振興指針の具現化

長期的な視点で大学等の知的基盤を充実し、そこから生み出される優秀な人材と研究開発成果を活用することにより、付加価値の高い製品やサービスを次々と生み出す次世代産業を創出・育成する戦略的な産業振興を行う。

また、北九州市の特性をふまえ、資源やエネルギーを効率的に利用し、高付加価値の製品やサービスを生み出す「新しいモノづくり」を推進する。

#### (基本戦略)

策定年度 平成 15 年 8 月

#### 目的

知的基盤の充実と活用による次世代産業の創出・育成

#### 目標

アジアの環境技術未来都市の実現<ヒューマン・エコ・テクノシ  
ティ北九州>

#### 方針

知を基盤としたモノづくりの推進&次世代社会システムの実証  
の推進

- ・英国クランフィールド大学北九州研究所
- ・GMD - J a p a n 研究所（ドイツ国立情報処理研究所）
- ・福岡県リサイクル総合研究センター（県立）
- ・福岡大学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻
- ・早稲田大学大学院情報生産システム研究科

略

<p>8 特定事業の名称</p> <p>No. 7 0 1 臨時開庁手数料の軽減による貿易の促進事業</p> <p>No. 7 0 2 税関の執務時間外における通関体制の整備による貿易の促進事業</p> <p>— No. 1 1 0 3 資本関係等によらない密接な関係による電力の特定供給事業</p> <p>— No. 1 2 0 1 公有水面埋立地の用途変更等の柔軟化事業</p> <p>— No. 5 0 1 , 5 0 2 , 5 0 3 外国人研究者受入れ促進事業</p> <p>— No. 5 0 4 特定事業等に係る外国人の入国・在留諸申請優先処理事業</p>	<p>8 特定事業の名称</p> <p>No. 7 0 1 臨時開庁手数料の軽減による貿易の促進事業</p> <p>No. 7 0 2 税関の執務時間外における通関体制の整備による貿易の促進事業</p> <p>No. 7 0 4 国の試験研究施設の使用手続きの迅速化事業</p> <p>No. 7 0 5 国の試験研究施設の使用の容易化事業</p> <p>No. 8 1 3 , 8 1 5 国有施設等の廉価使用の拡大による研究交流促進事業</p> <p>No. 1 1 0 3 資本関係等によらない密接な関係による電力の特定供給事業</p> <p>No. 1 2 0 1 公有水面埋立地の用途変更等の柔軟化事業</p>
<p>9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項</p> <p>(1)関連事業</p> <p>略</p> <p>再生関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州学術研究都市整備事業（再掲）</li> <li>・北九州エコタウン事業（再掲）</li> <li>・リサイクルポート整備事業</li> </ul> <p>リサイクル施設と港湾施設（係留施設、荷捌き施設、臨港道路等）を有機的・一体的に整備することにより、受入れ、処理、残渣処分を一貫して行うことのできる拠点づくりを行う。（平成14年5月30日指定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州 e - port 構想</li> </ul> <p>響灘大水深港湾（Sea - Port）新北九州空港（Air - Port）に続く、第3の国際ハブポートとして、情報の港（E - Port）を、市民生活、企業活動、行政サービスを支える社会基盤として整備し、新規事業への展開の容易化、雇用の創出等地域経済の活性化を推進する。</p> <p>i DC、情報倉庫、コールセンター、A B X、人材育成機関を整備する。</p> <p>・北九州市科学技術振興指針</p> <p>知的基盤の充実の方向性</p> <p>国際水準の知的基盤の実現</p> <p>北九州学術研究都市を知的基盤の中核として位置付け、国内外の高度な教育研究機関との連携を強化し、特色ある分野において、国際水準の実践的な教育研究機能を早期に実現し、</p>	<p>9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項</p> <p>(1)関連事業</p> <p>略</p> <p>再生関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州学術研究都市整備事業（再掲）</li> <li>・北九州エコタウン事業（再掲）</li> <li>・リサイクルポート整備事業</li> </ul> <p>リサイクル施設と港湾施設（係留施設、荷捌き施設、臨港道路等）を有機的・一体的に整備することにより、受入れ、処理、残渣処分を一貫して行うことのできる拠点づくりを行う。（平成14年5月30日指定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州 e - port 構想</li> </ul> <p>響灘大水深港湾（Sea - Port）新北九州空港（Air - Port）に続く、第3の国際ハブポートとして、情報の港（E - Port）を、市民生活、企業活動、行政サービスを支える社会基盤として整備し、新規事業への展開の容易化、雇用の創出等地域経済の活性化を推進する。</p> <p>i DC、情報倉庫、コールセンター、A B X、人材育成機関を整備する。</p> <p>略</p>

<p><u>世界に通用する実践的な人材や研究開発成果を次々と生み出す。</u></p> <p><u>地域のポテンシャルの活用</u></p> <p><u>研究開発型企業の誘致・創業や既存企業の高度化を狙った産学連携施策を強化する。</u></p> <p><u>アジア諸国の優秀な研究者や留学生を積極的に受け入れ、実践的な研究開発を促進する。</u></p> <p><u>実証研究エリアであるエコタウンとの連携などにより研究開発成果を迅速に事業化する。</u></p> <p>略</p>	
<p>(2) 国際物流機能の強化及び産業再生のため今後関連が想定される特定事業等</p> <p>工業用水料金を始めI初料・料金の低廉化を図る施策を展開</p> <p>506 外国人研修生受入れによる人材育成促進事業</p> <p>507 外国人情報処理技術者受入れ促進事業</p> <p>703 民間事業者等による総合保税地域における一団の土地等の所有又は管理事業</p> <p>811 校地面積基準の引き下げによる大学等設置事業</p> <p>816 学校設置会社による学校設置事業</p> <p>821(801-1) 校地・校舎の自己所有を要しない大学等設置事業</p> <p>828 運動場に係る要件の弾力化による大学設置事業</p> <p>1202 公有水面埋立地における用途区分柔軟化事業</p> <p>1204 自動車の回送運行時における仮ナンバー表示の柔軟化事業</p> <p>1208 特定埋立地に係る所有権移転制限期間等短縮事業</p> <p>1212 留学生向け宿舎に係る公営住宅の目的外使用承認の簡素化事業</p> <p><u>なお、国立大学の法人化により、特例措置の対象から外れた国の試験研究施設の使用の容易化事業(旧705)及び国有施設等の廉価使用の拡大による研究交流促進事業(旧813)については、国立大学法人に対し、当該特例措置と同様の措置の継続を依頼。</u></p>	<p>(2) 国際物流機能の強化及び産業再生のため今後関連が想定される特定事業等</p> <p>工業用水料金を始めエネルギー料金の低廉化を図る施策を展開</p> <p>505,702,939,1001,1117,1209 輸出入・港湾関連手続の合理化(ワンストップサービス・シングルウィンドウ化)</p> <p>940 検疫の24時間化</p> <p>1110 一般の需要家に対する電力小売の緩和</p> <p>1111 既存電力供給事業者への新エネルギー由来電力購入の義務化、購入割合拡大</p> <p>602 数次短期滞在査証の発給要件の特例</p> <p>1122 特区における特定事業にかかる電力の特定供給の審査手続きの迅速化</p> <p>704 保税地域搬入前の貨物に対する到着時即時輸入許可制度の導入</p>

別紙			
1 特定事業の名称 501, 502, 503 外国人研究者受入れ促進事業			
2 当該規制の特定措置の適用を受けようとする者 (1) 次の機関との契約に基づいて当該機関の当該特区内に所在する施設において、IT、バイオ、ナノ、ロボティクス、環境・エネルギーの各分野に関する研究を行う業務に従事する外国人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立大学法人九州工業大学</li> <li>・北九州市立大学</li> <li>・早稲田大学</li> <li>・産業医科大学</li> <li>・財団法人北九州産業学術推進機構</li> </ul> (2)(1)の外国人の扶養を受ける配偶者または子			
3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 特区計画認定後			
4 特定事業の内容 次に掲げる機関施設において、IT、バイオ、ナノ、ロボティクス、環境・エネルギーの各分野に関する研究を行う業務に従事する外国人研究者の受入を促進する。なお、各施設はそれぞれ概要記載の分野に関する研究のための中核となる施設である。  機関名：国立大学法人九州工業大学			
施設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院 工学研 究科	戸畑区 仙水町 1-1	【IT】【ナ ノ】【ロボ ティク ス】【環 境・エネ ルギー】	機械工学、建設工学、電気工学、電子工学、材料工学、応用化学等の研究とこれらの分野にとらわれない学際融合型、産学連携型の研究に取り組んでいる。 【IT】半導体超格子の微小領域における物性評価および電気光学効果素子への応用研究、画像符号化、ニューロによる文字認識、医用画像処理 他 【ナノ】生体硬組織代替材料の研究、表面構造制御による生体組織修復材料の研究、ナノ構造磁性体とセンサ・アクチュエータの研究 他 【ロボティクス】磁界を利用したマイクロマシンの開発、



			<p>水中ロボットの力学と制御、宇宙ロボットのデジタル制御 他</p> <p>【環境・エネルギー】吸光光度法による微量陰イオンの高感度定量法により、環境汚染をもたらす有害物質を除去、電気化学反応及び表面機能を活用したエネルギーシステムと材料の設計開発 他</p>	
大学院 生命体 工学研 究科	若松区 ひびき の2 - 4	【IT】【バ イオ】【ナ ノ】【ロボ ティクス】 【環境・エネ ルギー】	<p>分子・細胞レベルの生命科学に加え、生命体の構造、物質変換、エネルギー変換、感覚、運動、制御、情報処理機能などの体系的な研究に取り組んでいる。</p> <p>【IT】自己組織システムの構築とハードウェア化、デジタル画像処理、脳型コンピュータのための集積回路と画像認識システムへの応用 他</p> <p>【バイオ】ペプチド骨格を基体とした人工的機能分子の創製・生物有機化学、生体高分子化学、ペプチド化学 他</p> <p>【ナノ】太陽電池及び有機エレクトロニクス材料、マイクロ・ナノスケールで出現する特異な現象を適用した材料の研究 他</p> <p>【ロボティクス】ニューラルネットワークを用いた運動制御システム 他</p> <p>【環境・エネルギー】生ゴミからポリ乳酸と肥料を製造することによる資源化の研究、マレーシアパームオイル産業が大気中に放出する膨大なメタンガスのエネルギー利用および温暖化ガス削減 他</p>	
工学部	戸畑区 仙水町 1 - 1	【IT】【ナ ノ】【ロボ ティクス】 【環境・エネ ルギー】	<p>力学体系を中心とする先端工業技術、宇宙空間や特殊環境に対応できる要素技術や新規応用技術、その他電子システム化技術、センシング技術、システム化技術、材料科学を基礎とした材料開発などの研究に取り組んでいる。</p> <p>【IT】半導体超格子の微小領域における物性評価および電気光学効果素子への応用研究、画像符号化、ニューロによる文字認識、医用画像処理 他</p> <p>【ナノ】生体硬組織代替材料の研究、表面構造制御による生体組織修復材料の研究 他</p> <p>【ロボティクス】水中ロボットの力学と制御、宇宙ロボットのデジタル制御 他</p> <p>【環境・エネルギー】吸光光度法による微量陰イオンの高感度定量法により、環境汚染をもたらす有害物質を除去、電気</p>	

化学反応及び表面機能を活用したエネルギーシステムと材料の設計開発 他

機関名：北九州市立大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院 国際環 境工学 研究科	若松区 ひびき の1 - 1	【IT】バ イオ【ナ ノ】ロボ ティク ス【環 境・エネ ルギー】	環境技術及び情報技術が関連する分野において、産業界との連携、異分野間の融合を積極的に推進して、総合的な環境システムに係る研究開発・技術開発を行う。 【IT】VLSI 物理設計、アナログ・デジタル混載 LSI 設計 他 【バイオ】ES 細胞の分化誘導、バイオマスのエネルギー化に関する研究、生体機能センシング技術の開発 他 【ナノ】合成二分子膜の自己組織化、有機・無機超薄膜 他 【ロボティクス】人間機械環境システムの安全性に関する研究、天井吊下げ型歩行支援装置のリハビリテーションへの適用 他 【環境・エネルギー】環境中からの有害物質（金属、有機物）の効率的な分離回収システム、クリーン燃料の合成、固体酸化物形燃料電池の耐久性向上に関する研究 他
国際環 境工学 部	若松区 ひびき の1 - 1	【IT】バ イオ【ナ ノ】ロボ ティク ス【環 境・エネ ルギー】	物質・エネルギーに主体を置く実空間における環境問題の研究に取り組むとともに、インターネットに代表される仮想的情報空間における環境問題の研究を行う。 【IT】VLSI 物理設計、アナログ・デジタル混載 LSI 設計 他 【バイオ】バイオマスのエネルギー化に関する研究、生体機能センシング技術の開発 他 【ナノ】合成二分子膜の自己組織化、有機・無機超薄膜 他 【ロボティクス】人間機械環境システムの安全性に関する研究、天井吊下げ型歩行支援装置のリハビリテーションへの適用 他 【環境・エネルギー】環境中からの有害物質（金属、有機物）の効率的な分離回収システム、クリーン燃料の合成、固体酸化物形燃料電池の耐久性向上に関する研究 他

機関名：早稲田大学

移設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院 情報生	若松区 ひびき	【IT】ロ ボティク	最新の「情報技術」分野、情報技術を支えるハードウェアとしての「システム L S I」分野、情報技術を駆使した「生産

産システム研究科	の2 - 7	ス】	システム」分野の研究に取り組んでいる。 【IT】次世代インターネットのシステム LSI 設計、一般化学習ネットワークおよび遺伝的ネットワークプログラミングの研究 他 【ロボティクス】ポリマーアクチュエータの開発、ソフトロボット制御技術研究 他
理工学総合研究センター九州研究所	若松区ひびきの2 - 2	【IT】【ロボティクス】【ナノ】【環境・エネルギー】	自然科学、社会科学、人文科学の知恵と技術、哲学を総合化・融合化し、産業界に真に評価される理工学研究として、システム L S I 分野や環境・エネルギー分野など幅広い研究に取り組んでいる。 【IT】システム LSI 設計、地図情報処理 他 【ロボティクス】ポリマーアクチュエータの開発 他 【ナノ】高速通信のためのナノ加工水晶振動子の研究開発 他 【環境・エネルギー】低環境負荷の高代謝建築の研究、エネルギー・動力システムの研究 他

機関名：産業医科大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院医学研究科	八幡西区医生ケ丘1 - 1	【バイオ】【環境】	医学以外の周辺諸科学（理学，工学，心理学，環境科学等）を含めた学際的観点に立った総合科学である産業医学の研究を行う。 【バイオ】中毒性疾患の動物モデルと培養細胞を用いての中毒発生機序に関する生化学・分子生物学的研究、細胞膜ナトリウムポンプの構造と機能、遺伝子工学の手法とその応用 他 【環境】労働環境ならびに生活環境中の有害物質の毒性評価、メタン生成古細菌のエーテル型脂質構造の研究 他
医学部	八幡西区医生ケ丘1 - 1	【バイオ】【環境】	医学以外の周辺諸科学（理学，工学，心理学，環境科学等）を含めた学際的観点に立った総合科学である産業医学の研究を行う。 【バイオ】細胞膜ナトリウムポンプの構造と機能、遺伝子工学の手法とその応用 他 【環境】メタン生成古細菌のエーテル型脂質構造の研究 他
産業生態科学	八幡西区医生	【バイオ】【環	医学以外の周辺諸科学（理学，工学，心理学，環境科学等）を含めた学際的観点に立った総合科学として、労働者の健康

研究所	ヶ丘1 - 1	境】	や環境への影響などの産業医学の研究を行う。 【バイオ】個人の画像を含む健康情報を一元的にファイルし、健康設計に活用するオフラインシステムの開発 他 【環境】労働強度を含めた、有害物質曝露量測定機器の開発、各種ガス、溶剤に対する活性炭の有効性の検討 他
-----	------------	----	---

機関名：財団法人北九州産業学術推進機構

北九州地域における産学官連携による研究開発や学術研究の推進等を行うことで、産業技術の高度化や活力ある地域企業群の創出・育成を行っている。

財団法人北九州産業学術推進機構では、外国人と特定分野の研究に従事することについて契約し、財団内の研究組織（ロボティクス研究所及び英国クランフィールド大学北九州研究所）にて、情報分野や環境分野といった特定分野の研究に従事させるほか、システムL S I技術とナノサイズセンサー技術などの研究に取り組む知的クラスター創成事業等、財団が中核機関となる研究開発プロジェクトについては、国立大学法人九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学の各研究施設において特定分野の研究に従事する。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
ロボティクス研究所	若松区 ひびきの2 - 1	【IT】ロボティクス】	ロボティクスを中心とした情報分野において、世界に通用する最先端の研究を行うとともに、地域の産業育成と技術革新に貢献する技術開発に取り組む。 【IT】計算知能、パターン認識、画像処理 他 【ロボティクス】 下水道管渠検査用自立型ロボットの開発、自律型移動ロボットの設計・製作 他
英国クランフィールド大学北九州研究所	若松区 ひびきの2 - 1	【IT】バイオ】ナノ】【環境・エネルギー】	製品設計から製品寿命が終わるまでの環境影響を最小限に抑える「エコデザイン」の概念を実用化するため、「バイオサイエンス」、「マイクロエンジニアリング」、「ナノテクノロジー」などの各分野の研究に取り組んでいる。 【IT】光集積センサー及びモジュレーター 他 【バイオ】生物有機化学物質を用いた光ファイバー及び光集積センサー 他 【ナノ】ナノ構造の化学物質を用いた光ファイバー及び光集積センサー 他 【環境・エネルギー】 環境中の汚染物質の検出センサー、建物と都市環境に関連するエネルギーの研究 他
国立大	戸畑区	【IT】ナ	前掲

学法人九州工業大学大学院工学研究科	仙水町 1 - 1	ノ【ロボティクス】【環境・エネルギー】	
国立大学法人九州工業大学大学院生命体工学研究科	若松区ひびきの2 - 4	【IT】バイオ【ナノ】ロボティクス【環境・エネルギー】	前掲
国立大学法人九州工業大学工学部	戸畑区仙水町 1 - 1	【IT】ナノ【ロボティクス】【環境・エネルギー】	前掲
北九州市立大学大学院国際環境工学研究科	若松区ひびきの1 - 1	【IT】バイオ【ナノ】ロボティクス【環境・エネルギー】	前掲
北九州市立大学国際環境工学部	若松区ひびきの1 - 1	【IT】バイオ【ナノ】ロボティクス【環境・エネルギー】	前掲
早稲田大学大	若松区ひびき	【IT】ロボティク	前掲

学院情報生産システム研究科	の2 - 7	ス】		
早稲田大学理工学総合センター九州研究所	若松区ひびきの2 - 2	【IT】ロボティクス】【ナノ】【環境・エネルギー】	前掲	
<p>上記に記載した施設は全て当該研究分野の中核施設である。</p>				
<p>5 当該規制の特定措置の内容  (特区法15条1項1号及び2号に該当することを判断した根拠を示す内容)</p> <p><b>【IT分野】</b>  IT分野はあらゆる産業の高度化に不可欠な基盤技術であり、市民の快適な生活を支える分野である。特に、システムLSI関連技術は、製品市場の世界的拡大が見込まれるとともに、市場ニーズに呼応し、技術の高度化・高付加価値化(垂直的拡大)や応用領域を拡大し多様な製品創出(水平的拡大)といった広範囲の展開が可能である。特区内においては、国立大学法人九州工業大学大学院生命体工学研究科、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、北九州市立大学大学院・国際環境工学部など多くの研究者が集積し、研究開発成果を事業化する研究開発型企業も19社が立地するなど、システムLSI関連技術を中核としたクラスターが形成される可能性が高く、今後ともその集積は高まることが見込まれる。  外国人研究者の研究活動及びその成果を生かした事業の経営活動はこれらを加速させるのに極めて有効であると判断される。</p> <p><b>【バイオ分野】</b>  少子高齢化社会においては、健康に対するニーズは大きい。特に、健康の管理・維持に力点を置いた技術であるバイオツール(機器、試薬、分析チップ等)やバイオインフォマティクスは、バイオテクノロジー(BT)戦略大綱においても、BTのマザーインダストリーとして、BTに関するあらゆる産業の基盤となるものとされている。</p>				

これらの技術は、健康状態の数値的把握の際、「計測」と「情報解析」といった IT と BT の連携が重要になってくるが、特区内には、生命体工学関係（国立大学法人九州工業大学大学院生命体工学研究科）や情報工学関係（早稲田大学大学院情報生産システム研究科、北九州市立大学大学院・国際環境工学部）の研究施設・研究者が集積し、また、医学関係（産業医科大学など）の研究者も存在し、今後ともその集積は高まることが見込まれる。また、これらの分野は、市場への新規参入も可能な分野であり、大学発ベンチャーの創業も期待できる。

外国人研究者の研究活動及びその成果を生かした事業の経営活動はこれらを加速させるのに極めて有効であると判断される。

#### 【ナノ分野】

ナノ分野は、基礎素材型産業の集積がある本地域にとって、特徴や強みが活かせる分野であり、高機能性材料による新しい産業の創出につながることを期待される。北九州市立大学大学院・国際環境工学部や国立大学法人九州工業大学大学院・工学部などには、環境関連のマイクロ・ナノ技術の研究者が集積しており、特定分野の研究開発成果を応用・活用した、環境にやさしい素材や材料の開発などが期待できる。また、地元には、鉄鋼、化学などの基礎素材産業や、メッキなどの表面処理産業、金属加工産業が集積しており、これらの産業が大学の研究成果を活用して、技術を飛躍的に高めることが見込まれる。

外国人研究者の研究活動及びその成果を生かした事業の経営活動はこれらを加速させるのに極めて有効であると判断される。

#### 【ロボティクス分野】

ロボティクス分野は、今後大きな成長が見込まれるロボット産業のみならず、ロボットの要素技術であるセンサ、高機能部品、制御システム、人工知能などがロボット以外の製品群にも広範囲に展開していくことが期待できる。特区内は、国立大学法人九州工業大学大学院・工学部をはじめ、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、ロボティクス研究所など、ロボットを構成する個別の要素技術の研究者が多く、また、産業用ロボットの世界的メーカーやロボットベンチャーなどロボット関連企業が立地しており、ロボットの要素技術関連として、素材・加工型中小企業も多く集積しており、今後、ロボット関連産業への参入が見込まれる。

外国人研究者の研究活動及びその成果を生かした事業の経営活動はこれらを加速させるのに極めて有効であると判断される。

#### 【環境・エネルギー分野】

人類共通の課題である地球環境問題の解決に貢献し、本市に蓄積した人材や経験を生

かすためには、環境分野・エネルギー分野は重要であり、市民の関心も高い。特区内においては、先端科学技術を活用した触媒開発や材料開発などの要素技術の研究開発や、クリーンエネルギーの実証実験などにより、新産業・新事業の創造を目指すことが期待できる。特に、北九州市立大学大学院・国際環境工学部などにおいては、合成燃料、燃料電池、バイオマス由来の循環型プラスチック原料、環境デザインなど特定分野に関する優れた研究者がいることから、その研究の実証実験を踏まえた事業化が有望である。また、地元には、プラントメンテナンス、表面処理等の技術を蓄積する企業が集積しており、地元企業の新事業展開先として、今後その発展が見込まれる。外国人研究者の研究活動及びその成果を生かした事業の経営活動はこれらを加速させるのに極めて有効であると判断される。



<p>別紙</p> <p>1 特定事業の名称 504 特定事業等に係る外国人の入国・在留諸申請優先処理事業</p>	
<p>2 当該規制の特定措置の適用を受けようとする者 北九州市国際物流特区における「外国人研究者受入れ促進事業」に該当する外国人</p>	
<p>3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 特区計画認定後</p>	

4 特定事業の内容

外国人の活動概要

機関名：国立大学法人九州工業大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院 工学研 究科	戸畑区 仙水町 1 - 1	【IT】【ナ ノ】【ロボ ティク ス】【環 境・エネ ルギー】	<p>機械工学、建設工学、電気工学、電子工学、材料工学、応用化学等の研究とこれらの分野にとらわれない学際融合型、産学連携型の研究に取り組んでいる。</p> <p>【IT】半導体超格子の微小領域における物性評価および電気光学効果素子への応用研究、画像符号化、ニューロによる文字認識、医用画像処理 他</p> <p>【ナノ】生体硬組織代替材料の研究、表面構造制御による生体組織修復材料の研究、ナノ構造磁性体とセンサ・アクチュエータの研究 他</p> <p>【ロボティクス】磁界を利用したマイクロマシンの開発、水中ロボットの力学と制御、宇宙ロボットのデジタル制御 他</p> <p>【環境・エネルギー】吸光光度法による微量陰イオンの高感度定量法により、環境汚染をもたらす有害物質を除去、電気化学反応及び表面機能を活用したエネルギーシステムと材料の設計開発 他</p>
大学院 生命体 工学研 究科	若松区 ひびき の2 - 4	【IT】【バ イオ】【ナ ノ】【ロボ ティク ス】【環 境・エネ ルギー】	<p>分子・細胞レベルの生命科学に加え、生命体の構造、物質変換、エネルギー変換、感覚、運動、制御、情報処理機能などの体系的な研究に取り組んでいる。</p> <p>【IT】自己組織システムの構築とハードウェア化、デジタル画像処理、脳型コンピュータのための集積回路と画像認識システムへの応用 他</p> <p>【バイオ】ペプチド骨格を基体とした人工的機能分子の創製・生物有機化学、生体高分子化学、ペプチド化学 他</p> <p>【ナノ】太陽電池及び有機エレクトロニクス材料、マイクロ・ナノスケールで出現する特異な現象を適用した材料の研究 他</p> <p>【ロボティクス】ニューラルネットワークを用いた運動制御システム 他</p> <p>【環境・エネルギー】生ゴミからポリ乳酸と肥料を製造することによる資源化の研究、マレーシアパームオイル産業が大</p>

			<p>気中に放出する膨大なメタンガスのエネルギー利用および温暖化ガス削減 他</p>
工学部	戸畑区 仙水町 1 - 1	【IT】【ナノ】【ロボティクス】【環境・エネルギー】	<p>力学体系を中心とする先端工業技術、宇宙空間や特殊環境に対応できる要素技術や新規応用技術、その他電子システム化技術、センシング技術、システム化技術、材料科学を基礎とした材料開発などの研究に取り組んでいる。</p> <p>【IT】半導体超格子の微小領域における物性評価および電気光学効果素子への応用研究、画像符号化、ニューロによる文字認識、医用画像処理 他</p> <p>【ナノ】生体硬組織代替材料の研究、表面構造制御による生体組織修復材料の研究 他</p> <p>【ロボティクス】水中ロボットの力学と制御、宇宙ロボットのデジタル制御 他</p> <p>【環境・エネルギー】吸光光度法による微量陰イオンの高感度定量法により、環境汚染をもたらす有害物質を除去、電気化学反応及び表面機能を活用したエネルギーシステムと材料の設計開発 他</p>

機関名：北九州市立大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院 国際環境工学 研究科	若松区 ひびきの1 - 1	【IT】【バイオ】【ナノ】【ロボティクス】【環境・エネルギー】	<p>環境技術及び情報技術が関連する分野において、産業界との連携、異分野間の融合を積極的に推進して、総合的な環境システムに係る研究開発・技術開発を行う。</p> <p>【IT】VLSI 物理設計、アナログ・デジタル混載 LSI 設計 他</p> <p>【バイオ】ES 細胞の分化誘導、バイオマスのエネルギー化に関する研究、生体機能センシング技術の開発 他</p> <p>【ナノ】合成二分子膜の自己組織化、有機・無機超薄膜 他</p> <p>【ロボティクス】人間機械環境システムの安全性に関する研究、天井吊下げ型歩行支援装置のリハビリテーションへの適用 他</p> <p>【環境・エネルギー】環境中からの有害物質（金属、有機物）の効率的な分離回収システム、クリーン燃料の合成、固体酸化物形燃料電池の耐久性向上に関する研究 他</p>
国際環境工学部	若松区 ひびきの1 -	【IT】【バイオ】【ナノ】【ロボティクス】	<p>物質・エネルギーに主体を置く実空間における環境問題の研究に取り組むとともに、インターネットに代表される仮想的情報空間における環境問題の研究を行う。</p>

1	テクニクス【環境・エネルギー】	<p>【IT】VLSI 物理設計、アナログ・デジタル混載 LSI 設計 他</p> <p>【バイオ】バイオマスのエネルギー化に関する研究、生体機能センシング技術の開発 他</p> <p>【ナノ】合成二分子膜の自己組織化、有機・無機超薄膜 他</p> <p>【ロボティクス】人間機械環境システムの安全性に関する研究、天井吊下げ型歩行支援装置のリハビリテーションへの適用 他</p> <p>【環境・エネルギー】環境中からの有害物質（金属、有機物）の効率的な分離回収システム、クリーン燃料の合成、固体酸化物形燃料電池の耐久性向上に関する研究 他</p>
---	-----------------	---

機関名：早稲田大学

移設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院 情報生産システム研究科	若松区 ひびきの2-7	【IT】【ロボティクス】	<p>最新の「情報技術」分野、情報技術を支えるハードウェアとしての「システム L S I」分野、情報技術を駆使した「生産システム」分野の研究に取り組んでいる。</p> <p>【IT】次世代インターネットのシステム LSI 設計、一般化学習ネットワークおよび遺伝的ネットワークプログラミングの研究 他</p> <p>【ロボティクス】ポリマーアクチュエータの開発、ソフトロボット制御技術研究 他</p>
理工学総合研究センター九州研究所	若松区 ひびきの2-2	【IT】【ロボティクス】【ナノ】【環境・エネルギー】	<p>自然科学、社会科学、人文科学の知恵と技術、哲学を総合化・融合化し、産業界に真に評価される理工学研究として、システム L S I 分野や環境・エネルギー分野など幅広い研究に取り組んでいる。</p> <p>【IT】システム LSI 設計、地図情報処理 他</p> <p>【ロボティクス】ポリマーアクチュエータの開発 他</p> <p>【ナノ】高速通信のためのナノ加工水晶振動子の研究開発 他</p> <p>【環境・エネルギー】低環境負荷の高代謝建築の研究、エネルギー・動力システムの研究 他</p>

機関名：産業医科大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
大学院 医学研	八幡西区 区医生	【バイオ】【環	医学以外の周辺諸科学（理学，工学，心理学，環境科学等）を含めた学際的観点に立った総合科学である産業医学の研究

究科	ヶ丘1 - 1	境】	を行う。 【バイオ】中毒性疾患の動物モデルと培養細胞を用いての中毒発生機序に関する生化学・分子生物学的研究、細胞膜ナトリウムポンプの構造と機能、遺伝子工学の手法とその応用他 【環境】労働環境ならびに生活環境中の有害物質の毒性評価、メタン生成古細菌のエーテル型脂質構造の研究 他
医学部	八幡西区 区医生 ヶ丘1 - 1	【バイオ】【環境】	医学以外の周辺諸科学（理学，工学，心理学，環境科学等）を含めた学際的観点に立った総合科学である産業医学の研究を行う。 【バイオ】細胞膜ナトリウムポンプの構造と機能、遺伝子工学の手法とその応用 他 【環境】メタン生成古細菌のエーテル型脂質構造の研究 他
産業生態科学研究所	八幡西区 区医生 ヶ丘1 - 1	【バイオ】【環境】	医学以外の周辺諸科学（理学，工学，心理学，環境科学等）を含めた学際的観点に立った総合科学として、労働者の健康や環境への影響などの産業医学の研究を行う。 【バイオ】個人の画像を含む健康情報を一元的にファイルし、健康設計に活用するオフラインシステムの開発 他 【環境】労働強度を含めた、有害物質曝露量測定機器の開発、各種ガス、溶剤に対する活性炭の有効性の検討 他

機関名：財団法人北九州産業学術推進機構

北九州地域における産学官連携による研究開発や学術研究の推進等を行うことで、産業技術の高度化や活力ある地域企業群の創出・育成を行っている。

財団法人北九州産業学術推進機構では、外国人と特定分野の研究に従事することについて契約し、財団内の研究組織（ロボティクス研究所及び英国クランフィールド大学北九州研究所）にて、情報分野や環境分野といった特定分野の研究に従事させるほか、システムL S I技術とナノサイズセンサー技術などの研究に取り組む知的クラスター創成事業等、財団が中核機関となる研究開発プロジェクトについては、国立大学法人九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学の各研究施設において特定分野の研究に従事する。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
ロボティクス研究所	若松区 ひびきの2 - 1	【IT】【ロボティクス】	ロボティクスを中心とした情報分野において、世界に通用する最先端の研究を行うとともに、地域の産業育成と技術革新に貢献する技術開発に取り組む。 【IT】計算知能、パターン認識、画像処理 他 【ロボティクス】

			下水道管渠検査用自立型ロボットの開発、自律型移動ロボットの設計・製作 他	
英国クランフィールド大学北九州研究所	若松区ひびきの2-1	【IT】【バイオ】【ナノ】【環境・エネルギー】	製品設計から製品寿命が終わるまでの環境影響を最小限に抑える「エコデザイン」の概念を実用化するため、「バイオサイエンス」、「マイクロエンジニアリング」、「ナノテクノロジー」などの各分野の研究に取り組んでいる。 【IT】光集積センサー及びモジュレーター 他 【バイオ】生物有機化学物質を用いた光ファイバー及び光集積センサー 他 【ナノ】ナノ構造の化学物質を用いた光ファイバー及び光集積センサー 他 【環境・エネルギー】 環境中の汚染物質の検出センサー、建物と都市環境に関連するエネルギーの研究 他	
国立大学法人九州工業大学大学院工学研究科	戸畑区仙水町1-1	【IT】【ナノ】【ロボティクス】【環境・エネルギー】	前掲	
国立大学法人九州工業大学大学院生命体工学研究科	若松区ひびきの2-4	【IT】【バイオ】【ナノ】【ロボティクス】【環境・エネルギー】	前掲	
国立大学法人九州工業大学工学部	戸畑区仙水町1-1	【IT】【ナノ】【ロボティクス】【環境・エネルギー】	前掲	
北九州	若松区	【IT】【バ	前掲	

市立大学大学院国際環境工学研究科	ひびきの1-1	イオ【ナノ】ロボティクス】【環境・エネルギー】		
北九州市立大学国際環境工学部	若松区ひびきの1-1	【IT】バイオ【ナノ】ロボティクス】【環境・エネルギー】	前掲	
早稲田大学大学院情報生産システム研究科	若松区ひびきの2-7	【IT】ロボティクス】	前掲	
早稲田大学理工学総合センター九州研究所	若松区ひびきの2-2	【IT】ロボティクス】【ナノ】【環境・エネルギー】	前掲	
<p>上記に掲げる施設において特定分野の研究若しくは研究の成果を利用して行う事業活動及び当該外国人の配偶者又は子としての活動</p>				
<p>5 当該規制の特定措置の内容 「2」及び「4」に記載した内容から要件を満たすものと認めた。</p>				

削除	別紙 1 特定事業の名称 704 国の試験研究施設の使用手続きの迅速化事業
削除	2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 特区内の国立大学及び当該大学の試験研究施設又は土地を利用する民間企業
削除	3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 特区計画の認定後
削除	4 特定事業の内容 (1) 事業に関与する主体 特区内において、国立大学の試験研究施設又は土地を利用して「生命化学物質の設計と試作関係」に関する研究を行う民間企業 具体的な主体 酵素アフィニティーチップ製造に関わる共同研究企業体 (2) 事業が行われる区域 北九州市若松区及び八幡西区の一部（北九州学術研究都市の全域） 九州工業大学大学院（生命体工学研究科） (3) 事業の実施期間 適用開始後、特定の分野に関する研究を推進することにより、研究の成果が生じるまでの間（平成15年7月～平成18年3月） (4) 事業により実現される行為 特区内における九州工業大学大学院生命体工学研究科の研究設備の廉価使用が可能となることで、当該学内での生命工学の一層の発展に寄与することのみならず、大学発ベンチャー等地域の活性化につながるものであり、更には国有財産の有効活用にも資するもの。
削除	5 当該規制の特例措置の内容 (1) 特例措置の必要性・要件適合性を認めた根拠 本市における産業構造を転換し、産業振興を進めるためには、新産業の創出を促進する必要がある。本件は、大学の施設を活用することにより新産業創出に向けての研究が促進されることが期待できるため、特例措置が必要と認めたもの。



削除	別紙 1 特定事業の名称 705 国試試験研究施設の使用の容易化事業
削除	2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 特区内の国立大学及び当該大学の試験研究施設又は土地を利用する民間企業
削除	3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 特区計画の認定後
削除	4 特定事業の内容 (1) 事業に関与する主体 特区内において、国立大学の試験研究施設又は土地を利用して「生命化学物質の設計と試作関係」に関する研究を行う民間企業 具体的な主体 酵素アフィニティーチップ製造に関わる共同研究企業体 (2) 事業が行われる区域 北九州市若松区及び八幡西区の一部（北九州学術研究都市の全域） 九州工業大学大学院（生命体工学研究科） (3) 事業の実施期間 適用開始後、特定の分野に関する研究を推進することにより、研究の成果が生じるまでの間（平成15年7月～平成18年3月） (4) 事業により実現される行為 特区内における九州工業大学大学院生命体工学研究科の研究設備の廉価使用が可能となることで、当該学内での生命工学の一層の発展に寄与することのみならず、大学発ベンチャー等地域の活性化につながるものであり、更には国有財産の有効活用にも資するもの。
削除	5 当該規制の特例措置の内容 (1) 特例措置の必要性・要件適合性を認めた根拠 本市における産業構造を転換し、産業振興を進めるためには、新産業の創出を促進する必要がある。本件は、大学の施設を活用することにより新産業創出に向けての研究が促進されることが期待できるため、特例措置が必要と認めたもの。

削除	別紙 1 特定事業の名称 8 1 3 国有施設等の廉価使用の拡大による研究交流促進事業
削除	2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 特区内の国立大学及び当該大学の試験研究施設を利用する民間企業
削除	3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 特区計画の認定後
削除	4 特定事業の内容 (1) 事業に関与する主体 九州工業大学 特区内において、国立大学の試験研究施設を利用して「生命化学物質の設計と試作関係」に関する研究を行う民間企業 具体的な主体 酵素アフィニティーチップ製造に関わる共同研究企業体 (2) 事業が行われる区域 北九州市若松区及び八幡西区の一部（北九州学術研究都市の全域） 九州工業大学大学院（生命体工学研究科） (3) 事業の実施期間 適用開始後、特定の分野に関する研究を推進することにより、研究の成果が生じるまでの間（平成 15 年 7 月～平成 18 年 3 月） (4) 事業により実現される行為 特区内における九州工業大学大学院生命体工学研究科の研究設備の廉価使用が可能となることで、当該学内での生命工学の一層の発展に寄与することにのみならず、大学発ベンチャー等地域の活性化につながるものであり、更には国有財産の有効活用にも資するもの。
削除	5 当該規制の特例措置の内容 (1) 特例措置の必要性・要件適合性を認めた根拠 本市における産業構造を転換し、産業振興を進めるためには、新産業の創出を促進する必要がある。本件は、大学の施設を活用することにより新産業創出に向けての研究が促進されることが期待できるため、特例措置が必要と認めたもの。 (2) 当該国の機関における当該特定の分野に関する研究に関する国以外の者との交流の実績 当該大学の生命工学系及び情報工学系の大学発のベンチャー数は、18

社（域内 15 社、全国 3 社）となっており、産学連携の実績を有している。

（H7～）

当該特定分野においては、平成 14 年 10 月より関連民間企業と共同研究を軸に進めている。

また、IT、材料、環境、製造業等特定分野に関する研究に関する国以外の者との交流実績は、別添のとおり平成 13 年度で 75 件、平成 14 年度で 88 件、合計 163 件となっていることから、相当程度の交流実績があると認められる。

（3）当該交流の一層の促進を図ることが当該特定の分野に関する研究の効率的推進に相当程度寄与するものと認めた理由

バイオチップのような生体情報検知解析システムは、要素技術のナノ化とデバイスのマイクロ化が総合的に実行されなくてはならない。そのため、個々の共同研究実績を集積したアライアンスが存在しなければ戦略的なチップ技術の展開が困難である。設立メンバーは色素等の有機材料やそれらの合成技術、DNA チップについてのノウハウを有しており、九工大の施設設備を廉価で利用し、大学研究者とも交流することによって当該研究の効率的推進を図ることができる。

（4）当該特定の分野に関する研究と関連する研究を行う国以外の者の施設の集積見込み

北九州学術研究都市の将来像と役割としては、環境、情報、バイオ、ナノテクといった先端科学技術に関する研究領域の強化・拡張等を図るため、更なる大学・研究機関の集積を図る予定である。

また、企業化や新産業創出のための人材育成、産学連携への取り組み強化、大学発ベンチャーの創出支援等を行い、先端的な当該特定分野の研究開発が促進されることにより、将来において、九州工業大学の研究対象分野に関連する研究機関、民間企業等の集積が見込める。（詳細別添のとおり）

削除	別紙 1 特定事業の名称 8 1 5 国有施設等の廉価使用の拡大による研究交流促進事業
削除	2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 特区内の国立大学及び当該大学の試験研究施設を利用する民間企業
削除	3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 特区計画の認定後
削除	4 特定事業の内容 (1) 事業に関与する主体 九州工業大学 特区内において、国立大学の試験研究施設を利用して「生命化学物質の設計と試作関係」に関する研究を行う民間企業 具体的な主体 酵素アフィニティーチップ製造に関わる共同研究企業体 (2) 事業が行われる区域 北九州市若松区及び八幡西区の一部（北九州学術研究都市の全域） 九州工業大学大学院（生命体工学研究科） (3) 事業の実施期間 適用開始後、特定の分野に関する研究を推進することにより、研究の成果が生じるまでの間（平成 15 年 7 月～平成 18 年 3 月） (4) 事業により実現される行為 特区内における九州工業大学大学院生命体工学研究科の研究設備の廉価使用が可能となることで、当該学内での生命工学の一層の発展に寄与することにのみならず、大学発ベンチャー等地域の活性化につながるものであり、更には国有財産の有効活用にも資するもの。
削除	5 当該規制の特例措置の内容 (1) 特例措置の必要性・要件適合性を認めた根拠 本市における産業構造を転換し、産業振興を進めるためには、新産業の創出を促進する必要がある。本件は、大学の施設を活用することにより新産業創出に向けての研究が促進されることが期待できるため、特例措置が必要と認めたもの。 (2) 当該国の機関における当該特定の分野に関する研究に関する国以外の者との交流の実績 当該大学の生命工学系及び情報工学系の大学発のベンチャー数は、1 8

社（域内 15 社、全国 3 社）となっており、産学連携の実績を有している。

（H7～）

当該特定分野においては、平成 14 年 10 月より関連民間企業と共同研究を軸に進めている。

また、IT、材料、環境、製造業等特定分野に関する研究に関する国以外の者との交流実績は、別添のとおり平成 13 年度で 75 件、平成 14 年度で 88 件、合計 163 件となっていることから、相当程度の交流実績があると認められる。

（3）当該交流の一層の促進を図ることが当該特定の分野に関する研究の効率的推進に相当程度寄与するものと認めた理由

バイオチップのような生体情報検知解析システムは、要素技術のナノ化とデバイスのマイクロ化が総合的に実行されなくてはならない。そのため、個々の共同研究実績を集積したアライアンスが存在しなければ戦略的なチップ技術の展開が困難である。設立メンバーは色素等の有機材料やそれらの合成技術、DNA チップについてのノウハウを有しており、九工大の施設設備を廉価で利用し、大学研究者とも交流することによって当該研究の効率的推進を図ることができる。

（4）当該特定の分野に関する研究と関連する研究を行う国以外の者の施設の集積見込み

北九州学術研究都市の将来像と役割としては、環境、情報、バイオ、ナノテクといった先端科学技術に関する研究領域の強化・拡張等を図るため、更なる大学・研究機関の集積を図る予定である。

また、企業化や新産業創出のための人材育成、産学連携への取り組み強化、大学発ベンチャーの創出支援等を行い、先端的な当該特定分野の研究開発が促進されることにより、将来において、九州工業大学の研究対象分野に関連する研究機関、民間企業等の集積が見込める。（詳細別添のとおり）